R。25日までは「目指せ連覇！あの感動と勇気をもう一度！全館楽天イーグルス応援セール」と銘打ち、全館1～2割引きセールや抽選会、お楽しみ袋も用意しており、多くの来店を呼び掛けている。（福田藍至）

1人当たりの被害額は373万3000円と高額だった。郵送で封筒が送られ、「封筒が届いた人しか購入できないので、代わりに買ってほしい」などといい、複数人が絡んでもうけ話を持ち掛けるという。このほか、発注した覚えのない健康食品を送り付けて支払いを迫る詐欺に関する相談も442件で前年度比39・4％の増加。70～80代の女性に被害が多く見られるという。

同センターは「出前授業や個別訪問などで啓発活動を続けるが、被害が高額で深刻な状況。身近で高齢者を見守る体制を心掛け、不審に思ったらすぐに相談するようにしてほしい」と呼び掛けている。

深浦産海産物 魅力をPR

東京など45店舗 フェアスタート

海産物小売りの「あおもり海山」と大型定置漁業の「ホリエイ」（ともに本社深浦町、堀内精二社長）、東京都などで海産物小売りなどを手掛ける「魚力」が深浦産の海産物や加工品を販売・PRする「深浦フェア」が23日、魚力の都内などの45店舗で始まった。このうち東京スカイツリータウン・ソラマチ店では吉田満町長も加わり、ずらりと並んだ鮮魚の魅力を来場者に紹介した。フェアは25日まで。

ホリエイはみちのく銀行などが創設した「とうほくのみらい応援ファンド」の出資と国の補助金を受け、「深浦マグロ」を急速凍結、超低温で保管し、通年出荷する事業を今秋以降に開始する予定。フェアは事業開始に先駆け、深浦産の海産物を広くPRしようと開催した。

ソラマチ店ではマグロやタイ、ブリといった新鮮で種類豊富な鮮魚などが並び、来場者は吉田町長らの説明を聞きながら次々買い求めた。吉田町長は「スカイツリーは観光客も多数訪れる場所。深浦産の海産物を売り込む絶好のチャンス」と販売促進に意欲を見せた。

（下山高秋）

来場者に深浦産海産物の魅力を紹介する吉田町長（中央）